

∨ 付 録 ∨

参考 1

ICD-10 第 V 章「精神および行動の障害」中間分類項目³⁾

第V章

精神および行動の障害（F 00－F 99）

症状性を含む器質性精神障害（F 00－F 09）

F 00 * アルツハイマー< Alzheimer > 病の痴呆（G 30.－†）

F 01 血管性痴呆

F 02 * 他に分類されるその他の疾患の痴呆

F 03 詳細不明の痴呆

F 04 器質性健忘症候群、アルコールその他の精神作用物質によらないもの

F 05 せん妄、アルコールその他の精神作用物質によらないもの

F 06 脳の損傷および機能不全並びに身体疾患によるその他の精神障害

F 07 脳の疾患、損傷および機能不全による人格および行動の障害

F 09 詳細不明の器質性又は症状性精神障害

精神作用物質使用による精神および行動の障害（F 10－F 19）

F 10 アルコール使用< 飲酒 > による精神および行動の障害

F 11 アヘン類使用による精神および行動の障害

F 12 大麻類使用による精神および行動の障害

F 13 鎮静薬又は催眠薬使用による精神および行動の障害

F 14 コカイン使用による精神および行動の障害

F 15 カフェインを含むその他の精神刺激薬使用による精神および行動の障害

F 16 幻覚薬使用による精神および行動の障害

F 17 タバコ使用< 喫煙 > による精神および行動の障害

F 18 揮発性溶剤使用による精神および行動の障害

F 19 多剤使用およびその他の精神作用物質使用による精神および行動の障害

精神分裂病、分裂病型障害および妄想性障害（F 20－F 29）

F 20 精神分裂病

F 21 分裂病型障害

F 22 持続性妄想性障害

F 23 急性一過性精神病性障害

F 24 感応性妄想性障害

F 25 分裂感情障害

F 28 その他の非器質性精神病性障害

F 29 詳細不明の非器質性精神病

気分〔感情〕障害（F 30－F 39）

- F 30 躁病エピソード
- F 31 双極性感情障害<躁うつ病>
- F 32 うつ病エピソード
- F 33 反復性うつ病性障害
- F 34 持続性気分〔感情〕障害
- F 38 その他の気分〔感情〕障害
- F 39 詳細不明の気分〔感情〕障害

神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害（F 40－F 48）

- F 40 恐怖症性不安障害
- F 41 その他の不安障害
- F 42 強迫性障害<強迫神経症>
- F 43 重度ストレスへの反応および適応障害
- F 44 解離性〔転換性〕障害
- F 45 身体表現性障害
- F 48 その他の神経症性障害

生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群（F 50－F 59）

- F 50 摂食障害
- F 51 非器質性睡眠障害
- F 52 性機能不全、器質性障害又は疾病によらないもの
- F 53 産じょく<褥>に関連した精神および行動の障害、他に分類されないもの
- F 54 他に分類される障害又は疾病に関連する心理的又は行動的要因
- F 55 依存を生じない物質の乱用
- F 59 生理的障害および身体的要因に関連した詳細不明の行動症候群

成人の人格および行動の障害（F 60－F 69）

- F 60 特定の人格障害
- F 61 混合性およびその他の人格障害
- F 62 持続的人格変化、脳損傷及び脳疾患によらないもの
- F 63 習慣および衝動の障害
- F 64 性同一性障害
- F 65 性嗜好の障害
- F 66 性発達および方向づけに関連する心理および行動の障害

- F 68 その他の成人の人格および行動の障害
- F 69 詳細不明の成人の人格および行動の障害

知的障害（精神遅滞）（F 70－F 79）

- F 70 軽度知的障害（精神遅滞）
- F 71 中等度知的障害（精神遅滞）
- F 72 重度知的障害（精神遅滞）
- F 73 最重度知的障害（精神遅滞）
- F 78 その他の知的障害（精神遅滞）
- F 79 詳細不明の知的障害（精神遅滞）

心理的発達の障害（F 80－F 89）

- F 80 会話及び言語の特異的発達障害
- F 81 学習能力の特異的発達障害
- F 82 運動機能の特異的発達障害
- F 83 混合性特異的発達障害
- F 84 広汎性発達障害
- F 88 その他の心理的発達障害
- F 89 詳細不明の心理的発達障害

小児＜児童＞期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害（F 90－F 98）

- F 90 多動性障害
- F 91 行為障害
- F 92 行為および情緒の混合性障害
- F 93 小児＜児童＞期に特異的に発症する情緒障害
- F 94 小児＜児童＞期および青年期に特異的に発症する社会的機能の障害
- F 95 チック障害
- F 98 小児＜児童＞期および青年期に通常発症するその他の行動および情緒の障害

詳細不明の精神障害（F 99）

- F 99 精神障害、詳細不明

参考 2

慣用的に用いられる臨床診断名と ICD-10^{2,3)}との対照表

慣用的に用いられる診断名と I C D - 1 0 との対照表

わが国で慣用されている主な臨床診断名	I C D - 1 0
破瓜病（破瓜型分裂病） 緊張病（緊張型分裂病） 妄想型分裂病 単純型分裂病 分裂病後うつ病 残遺分裂病 慢性分裂病 遅発分裂病 接枝分裂病	F20 精神分裂病
境界型分裂病 偽神経症性分裂病	F21 分裂病型障害
妄想病 パラノイア パラフレニー 敏感関係妄想 妄想反応 感応性精神病	F22 持続性妄想性障害
急性精神病 急性分裂病様精神病 心因性妄想精神病 妄想反応 分裂病性反応 反応性精神病	F23 急性一過性精神病性障害
感応性精神病	F24 感応性妄想性障害
非定型精神病 混合精神病	F25 分裂感情障害
躁病	F30 躁病エピソード
躁うつ病	F31 双極性感情障害 [躁うつ病]
うつ病 内因性うつ病 反応性うつ病 心因性うつ病 退行期うつ病	F32 うつ病エピソード

閉経期うつ病 更年期うつ病 初老期うつ病 疲弊性うつ病 仮面うつ病 激越うつ病	F32 うつ病エピソード
内因性うつ病 周期性うつ病 生氣うつ病 季節性うつ病	F33 反復性うつ病性障害
神経症性うつ病 抑うつ神経症	F34 持続性気分（感情）障害
恐怖症 恐怖神経症 対人恐怖症	F40 恐怖症性不安障害
不安神経症 不安発作（パニック障害）	F41 他の不安障害
強迫神経症	F42 強迫性障害
急性環境反応 急性心因反応 状況性反応 悲嘆反応 ストレス（重度）反応 外傷神経症	F43 重度ストレス反応及び適応障害
ヒステリー ヒステリー型神経症 解離型ヒステリー 転換型ヒステリー ヒステリー性反応 祈禱精神病 拘禁精神病 心因性精神病	F44 解離性（転換性）障害
心気症 心気性神経症	F45 身体表現性障害

離人神経症 神経衰弱 精神衰弱 疲弊神経症 疲労症候群（燃えつき症候群） 神経症性反応	F48 他の神経症性障害
--	--------------

参考 3

ストレス強度の客観的評価に関する研究

勤労者のストレス点数対比表（夏目ら）¹²⁾

点数	職場におけるストレス要因	職場以外のストレス要因
100 ↓ 91		
90 ↓ 81		配偶者の死亡 (83)
80 ↓ 71	会社の倒産 (74)	親族の死 (73) 離婚 (72)
70 ↓ 61	会社を変える (64) 自分の病気やケガ (62) ※業務に起因するもの 多忙による心身の過労 (62) ※業務に起因するもの 転職 (61) 仕事上のミス (61)	夫婦の別居 (67) 自分の病気やケガ (62) 300万円以上の借金 (61)
60 ↓ 51	単身赴任 (60) 左遷 (60) 会社が吸収合併される (59) 会社の建て直し (59) 人事異動 (58) 労働条件の大きな変化 (55) 配置転換 (54) 同僚との人間関係 (53) 上司とのトラブル (51) 抜てきに伴う配置転換 (51)	親族の健康や行動の大きな変化 (59) 友人の死 (59) 収入の減少 (58) 法的トラブル (52) 300万円以下の借金 (51)
50 ↓ 41	睡眠習慣の大きな変化 (47) ※業務に起因するもの 同僚とのトラブル (47) 顧客との人間関係 (44) 仕事のペース・活動の減少 (44) 仕事に打ち込む (43) 部下とのトラブル (43) 職場のOA化 (42) 課員が減る (42)	結婚 (50) 息子や娘が家を離れる (50) 性的問題・陰香 (49) 夫婦げんか (48) 引越し (47) 睡眠習慣の大きな変化 (47) 家族がふえる (47) 住宅ローン (47) 子供の受験勉強 (46) 妊娠 (44) 定年退職 (44) 社会活動の大きな変化 (42) 住宅環境の大きな変化 (42) 家族メンバーの変化 (41) 軽度の法律違反 (41) 子供が新しい学校へ変わる (41)
40 ↓ 31	自分の昇進・昇格 (40) 仕事のペース・活動の増加 (40) 同僚の昇進・昇格 (40) 新規事業に仕事の手算が見つからない (38) 新規事業に仕事の手算が見つかる (35) 長期休暇 (35) 課員が増える (32)	妻 (夫) が仕事を辞める (40) 技術革新の進歩 (40) 個人的成功 (38) 妻 (夫) が仕事を始める (38) 自己の習慣の大きな変化 (35) レクリエーションの減少 (37) 食習慣の大きな変化 (37)
30 ↓ 21		レクリエーションの増加 (28) 収入の増加 (25)
20 ↓ 11		
10 ↓ 1		

勤労者のストレス点数対比表 (Holmesら)¹⁶⁾

点 数	職場におけるストレス要因	職場以外のストレス要因
100 ↓ 91		配偶者の死亡 (100)
90 ↓ 81		
80 ↓ 71		離婚 (73)
70 ↓ 61		夫婦の別居 (65) 近親者の死亡 (63) 刑務所などへの収容 (63)
60 ↓ 51	本人の大きなケガや病気 (53) ※業務に起因するもの	本人の大きなケガや病気 (53)
50 ↓ 41	失業 (47) 退職・引退 (45)	結婚 (50) 夫婦の和解 (45) 家族員の健康面・行動面での大きな変化 (44)
40 ↓ 31	合併・組織替えなど勤め先の大きな変化 (39) 転勤・配置転換 (36)	妊娠 (40) 性生活の困難 (39) 新しい家族メンバーの加入 (39) 家計状態の大きな変化 (38) 親友の死 (37) 夫婦の口論回数の変化 (35) 1万ドル以上の借金 (31)
30 ↓ 21	仕事上の地位 (責任) の変化 (29) 職場の上司とのトラブル (23)	抵当流れ【借金返済できず】 (30) 子女の離家 (29) 義理の親族とのトラブル (29) 個人的な成功 (28) 妻の就職または退職 (26) 本人の進学または卒業 (26) 生活条件の変化【家の新築・環境の悪化】 (25) 個人的習慣の変更 (24)
20 ↓ 11	勤務時間や労働条件の変化 (20) 長期休暇 (13)	転居 (20) 学校生活の変化 (20) レクリエーションに関する変化 (19) 宗教【教会】活動上の変化 (19) 社会活動【社交】の面での変化 (18) 1万ドル以下の借金 (17) 睡眠習慣の変化 (16) 食事習慣の変化 (15) 困らざる家族員の数の変化 (15) クリスマス (12) ちょっとした法律違反 (11)
10 ↓ 1		

ストレスフル・ライフイベント	大変さの程度
(職場における要因)	
(1) 単身赴任	1. 35
(2) 転職	1. 22
(3) 業績が上がらなかった、ノルマが達成できなかった	1. 19
(4) 転勤	1. 08
(5) 会社にとって重大な仕事上のミスをした	1. 00
(6) 職場の配置転換、異動	0. 98
(7) 上司との関係がうまくいかなかった	0. 83
(8) 自分を理解してくれていた人の異動、退職	0. 78
(9) 同僚とのトラブル	0. 64
(10) 上司・上役が変わった	0. 63
(11) 自分の降格・留任	0. 60
(12) 自分の昇進・昇格	0. 48
(13) 同僚の昇進・昇格	0. 36
(職場以外の要因)	
(1) 離婚した、夫婦別居した	1. 31
(2) 配偶者の傷病または死亡	1. 28
(3) 子供の傷病または死亡	1. 15
(4) 自分の親(義理の親)の介護・介助	1. 09
(5) 自分の病気・けが	0. 95
(6) 転居	0. 93
(7) 親しい友人・知人の死や病気	0. 92
(7) 失恋、異性関係のもつれ	0. 92
(9) 借金返済の遅れ、困難	0. 87
(10) 子供の入試・進学	0. 83
(11) 自分の親(義理の親)との不和	0. 73
(12) 交通違反・交通事故を起こした	0. 71
(13) 子供の巣立ち(独立)	0. 69
(14) 親子の不和、子供の問題行動・非行	0. 66
(15) 夫婦のトラブル、不和	0. 62
(15) 妻の離職、就職、転職	0. 62
(17) 隣近所とのトラブル	0. 60

注) 大変さの程度：0～3段階評価

ストレス因子となるライフイベントの評価 (土屋ら 1994) ¹⁴⁾

ラ イ フ イ ベ ン ト	大変さの程度
(職場における要因)	
(1) 不本意な配置転換や異動	3. 1 7
(2) 失業、再就職	2. 6 8
(職場以外の要因)	
(1) 子供の死亡	3. 1 9
(2) 心身障害の子供を持つ	3. 1 4
(3) 自身の重病	3. 0 8
(3) 多額の財産の損失	3. 0 8
(5) 離婚	3. 0 6
(6) 親しい友人の死亡	2. 9 9
(7) 家族の死亡 (子供、配偶者以外)	2. 9 5
(8) 悪環境の場所への引越	2. 8 7
(9) 借金や資金繰りの悩み	2. 8 5
(10) 自身の重いけが	2. 7 9
(11) 家庭内のトラブル	2. 7 7
(12) 配偶者の死亡	2. 7 0
(13) 資格試験や入学試験の失敗	2. 4 1

注) 大変さの程度：1～5段階評価

ストレス因子となる社会環境及び準備状態の評価 (加藤ら 1974) ¹⁵⁾

ス ト レ ス 因 子	大変さの程度
(職場における要因)	
1 転職	3.87
2 退職・失業	3.55
3 職場の人間関係の苦勞	3.47
4 仕事の内容の変化、仕事量の増加	3.46
5 転勤	3.23
6 会社の機構の変化、経営状態の変化	3.16
7 仕事上のちょっとしたミス	2.96
8 昇進、昇格	2.79
9 初めての就職	2.71
10 上司、上役が変わった	2.26
(職場以外の要因)	
1 子供の死亡	5.00
2 配偶者の死亡	4.50
3 信頼し、頼りにしていた友人、先輩の死亡	4.28
4 自宅が火事で焼けそうになった	4.13
5 親類の誰かで世間的にまずいことをした人が出た	4.12
6 夫や妻の親が亡くなった	4.00
7 突然大きな支出があった、又はそのために貯金をおろした	3.92
8 家のそばにビル等が建ち、陽当たり通風が急に悪くなった	3.84
9 友人、先輩に裏切られショックを受けた	3.83
10 何らかの理由で夫婦が別々に住まざるを得なくなった	3.77
11 家の周りの空気が悪くなった	3.75
11 家の周りでひどい悪臭がした	3.75
11 他人や銀行その他から初めて借金をした	3.75
14 主婦以外の家族の誰かが病気や事故で5日間以上寝込んだり入院したりした	3.74
15 毎日使っている交通機関や道路が不便になった	3.72
16 地盤沈下問題で大騒ぎがあった	3.71
16 市役所、郵便局などの公的な関係機関が遠くなった	3.71
18 主婦が2日以上寝込むということがあった	3.70
19 近くの道路の自動車交通量が急に増えるようになった	3.68
19 自宅に泥棒や強盗が入った	3.68

注) 大変さの程度：1～5段階評価

ストレス因子	大変さの程度
21 近所の子供が大きなケガをする事故があった	3.67
22 下水道が詰まったり、あふれたりした	3.63
23 法律問題にまでなるような家庭争議があった	3.62
24 近所の騒音がひどくなった	3.60
24 家を新築、改築、増築した、又はその計画が持ち上がった	3.60
26 P T Aや学校の先生とのことで困ったことがあった	3.59
27 子供の遊び場や、いつも遊んでいた広場や場所がなくなった	3.58
27 近所に衛生に良くない虫や動物が急に増えた	3.58
27 ガス、水道の出が悪くなったり、断水、停電が多発した	3.58
30 住居を引越した、または引越の話が出た	3.57
30 家計費のどこかの部門（食費等）が急に増えた	3.57
32 台風や大雨によって、洪水、浸水、土砂崩れ、屋根がとんだり、ヘイが倒れたりすることがあった	3.55
33 近所に火事があった	3.54
33 親族とのつきあいで困ったり、辛い思いをしたことがあった	3.54
33 家族（自分を含む）が流産した、又はしそうになった	3.54
36 近所で人が死んだり、ケガをするような交通事故があった	3.53
37 近所づきあいで困ったり、とまどったり、辛い思いをした	3.51
38 いつも利用している病院がなくなったり、遠くなった	3.49
38 家屋を買った、又はその具体的な計画が持ち上がった	3.49
40 ゴミ回収、し尿処理などがひどく遅れたことがあった	3.47
40 献立など食生活の変化が起きた	3.47
40 家計の中心者が仕事をサボったり止めたりした	3.47
43 近所で泥棒や痴漢が出たりして、気味の悪い思いをした	3.45
44 財産相続などに絡む問題が起きた、又は起き出した	3.44
44 家族（自分を含む）が婚約した、又はその話が具体化した	3.44
44 家族（自分を含む）がノイローゼ気味になった	3.44
47 自分の土地を売買した、又はその計画が持ち上がった	3.43
47 税金のことで、税務署に呼ばれたり、苦勞することがあった	3.43
49 家族（自分を含む）が妊娠、又は出産した	3.42
50 子供の勉強が急に忙しくなった	3.40
51 家族（自分を含む）が交通事故を起こしたり、違反でひっかかった	3.37

ストレス因子	大変さの程度
52 近くでヤクザや暴力団、非行少年グループが事件を起こした	3.33
52 子供の友達のことでも困ったことがあった	3.33
52 急に収入が減ったり、増えたりすることが起きた	3.33
55 部屋の配分や使い方について、問題になったり困ったりした	3.32
56 PTAのことで急に忙しくなった	3.31
57 台所の設備のことで不便になったり、困ったことがあった	3.30
58 近所に家が急にたて混んできた	3.29
58 高齢の親のことで扶養や世話をどうするかという問題で親族で話し合った	3.29
60 家の周りの緑や、小鳥、蝶々、トンボなどが急に減った	3.28
61 驚いて外に飛び出るほどの地震や振動があった	3.27
62 家族（自分を含む）が医師にかかるほどの火傷をした	3.26
63 家族（自分を含む）が急にお金をやたらに使い始めた	3.24
64 住んでいる地域が光化学スモッグの危険にさらされた	3.23
65 墓地を買ったり、お墓を作る計画が持ち上がった	3.22
65 家族（自分を含む）の寝る時間に大きな変化が起きた（夜勤、徹夜の勉強など）	3.22
67 子供が学校を転校した	3.20
68 洗面や洗濯、入浴のことで不便や、困ったことがあった	3.19
69 子供が受験浪人をするようになった	3.18
70 近所で鉄道、道路、ビル建設等の計画が持ち上がったり実際に工事が始まった	3.17
71 近くにモーテル、バー等あまり風紀の良くない施設ができた	3.15
71 子供が高等学校又は大学に入学した	3.15
71 自動車や家財道具等で大きな故障があり修理に出したりした	3.15
74 子供の成績が急に良くなった、又は悪くなった	3.11
75 共働きを始めた、又はやめた	3.09
76 夫婦のいさかいが多くなってきた	3.08
77 これまで同居していた家族、老親、親族などが別々に住むようになった	3.06
78 家族以外の人（知人、下宿人など）と一緒に住むようになった	3.04
79 家族（自分を含む）が（初めて）海外旅行（又は出張）をした	3.03
80 自治会、町内会、商店会などの役員に最近なった	3.01

ストレス因子	大変さの程度
81 別に住んでいた家族や老親が合流した	3.00
81 家族（自分を含む）が何かのことで裁判沙汰にまきこまれた	3.00
83 毎日お惣菜や日用品を買うのに利用していた店がなくなった	2.95
84 一家そろって食事するようになった、又はできなくなった	2.92
85 家族（自分を含む）が趣味やスポーツにこりだした	2.90
86 子供に家庭教師をつけた、又は家庭教師を変えた	2.83
87 子供部屋、勉強部屋、老人の部屋を作った	2.82
88 親族の家のことで手伝ってあげたり相談にのったり世話をしたことがあった	2.80
88 子供が初めて級長や学級の委員になった	2.80
88 自動車を初めて買った、又は買いかえた	2.80
91 近所に不幸があつて、お悔やみや葬式に行った	2.79
91 親しかった友人が結婚した	2.79
91 子供が初めて外泊旅行をした	2.79
94 流感で学級閉鎖があった	2.78
95 これまで親しかった隣人が引越していった	2.75
96 子供を初めて塾や、ピアノ、絵等のレッスンにかよわせた	2.69
96 家で内職を始めた、又はやめた	2.69
98 電話を初めて取り付けた、又は今まであったのがなくなった	2.68
99 近所の家のことで相談相手になったり、何か手伝ったりしたことがあった	2.67
100 子供が幼稚園に入園した	2.66
101 子供が小学校又は中学校に入学した	2.65
102 犬、猫、小鳥等のペットを飼った、又はいなくなった	2.63
103 近所に赤痢、ショウコウネツ等の伝染病が発生した	2.58
103 冷暖房の装置を初めて入れた、又は冷暖房の仕方を変えた	2.58
105 おたふく風邪、水ぼうそう等、子供の流行性の病気があった	2.54
106 テレビ、冷蔵庫、洗濯機、クーラー、掃除機等を買った、又は買いかえた	2.51
107 学校で良くない遊び(シンナー、煙草、賭事、危険な遊び等)がはやりだした	2.50
108 親しくおつきあいする人が増えた	2.45
109 子供の学校や幼稚園（保育園）が移転した	2.43

ストレス因子	大変さの程度
109 風呂を初めてつけた	2.43
111 子供の学級のクラス替えがあったり、学級担任が変わったりした	2.26
112 向こう三軒両隣に新しい人が引越してきた	1.97

心理社会的ストレスの程度 (Williams 1982) ¹⁷⁾

コード	程 度	成 人 の 例
1	なし (None)	明らかな心理社会的ストレスなし
2	軽微 (Minimal)	些細な法律違反、少額の銀行ローン
3	軽度 (Mild)	隣人との口論、勤務時間の変更
4	中程度 (Moderate)	新しい職業、親友の死、妊娠
5	高度 (Severe)	自分自身あるいは家族の重病、配偶者と別居 大きな経済的損失、子供の出生
6	極度 (Extreme)	近親者の死、離婚
7	破局的 (Catastrophic)	強制収容所の体験 取り返しのつかない天災
0	特定不能 (Unspecified)	情報なし、または適応不能

職場におけるストレスリスク要因 (Cooper 1983) ¹⁰⁾

ストレッサー	リスク要因
労働条件	<ul style="list-style-type: none"> ・量的に過大な仕事負担 ・質的に過大な仕事負担 ・組立ラインでの過大な緊張 ・決定や裁量の程度 ・身体的危険 ・交替勤務
役割ストレス	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事でのあいまいな役割 ・偏った男女差と役割の固定化 ・セクシャルハラスメント
個人間の要因	<ul style="list-style-type: none"> ・不十分な労働条件と社会保障 ・政治的ライバル意識—ねたみと怒り ・労働者保護の管理機構の欠如
キャリア (昇進・昇格)	<ul style="list-style-type: none"> ・昇進の遅さ ・昇進のし過ぎ ・仕事の保証 ・欲求不満状態
組織機構	<ul style="list-style-type: none"> ・硬直で非人間的組織機構 ・政治的争い ・不適切な監視や訓練 ・方針決定への不参加
家庭と仕事の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・収入と支出の不均衡 ・配偶者の協力の欠如 ・夫婦間の問題や結婚問題 ・二重のキャリアストレス

ストレスラー	リスク要因
<p>職場における要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転勤 ・ 職場の配置転換 ・ 仕事上のミス ・ 多忙による心身の過労 ・ 交通事故 (業務中) ・ 労働災害 ・ 人間関係のもつれ ・ 親しい人の死 ・ 自分の昇格・昇進による責任感 ・ 同僚の昇格・昇進によるショック
<p>職場以外の要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭内での不和 ・ 家族親族の病気や死亡 ・ 結婚・離婚 ・ 子弟の入試・進学 ・ 友人や知人の死 ・ 失恋 ・ 引越し ・ 近隣との不和 ・ 人間関係のもつれ ・ 経済的な困難 ・ 交通事故 (業務外) ・ 天災などの事故

参考 4

自殺者に占める精神障害の比率及び自殺者の診断名分布の研究

自殺者に占める精神障害の比率の資料一覽

調査者・場所・性別	調査年	例 数		精神障害		備 考
		(人)	(%)	(%)	(%)	
de Boismont, B.	1865	4,595	14.2			
Württemberg	1900			52.3		酒精嗜癖 16.7
Wessinger, J. D.	1927			36.8		男33.4%, 女45.1%
	1928			67.6		男33.5%, 女47.3%
Gaupp, R.	1904~6	16	48	99		
Hubner, A. H.	1910	92		34.8		
Oppler, W.	1927	163	25.8	93.9		
		185	48.1	96.2		少なくとも23%は精神病ではない
Ollendorff, K.	1898~1902	33,848		28.45		
von Hermann, F. B. W.	1844~56	4,269	19.5			
Thomsen, J.	1891	127	23.6			
Dreikurs, R.	1930	353	6.7	100		
Weichbrodt, R.	1929			8.8		
Schneider, K.	1933			11		
Piker, P.	1927~36	1,817	6.7			既遂と未遂
Georg, S.		220	12.3			
Dahlgren, K. G.	1933~42	251		77		総合病院入院
Ettliger, R. W.	1955	500	16.6	94.8		
James	1963	100	22	80		救急病棟入院
Schmidt	1952~53	109	15	100		一般病院入院
Kapamadžija	1952~66	180	7	100		精神病センター入院
Böcker, F.	1950~67	8,760	15.5	88.9		大学精神科, 未遂
Stengel, E	1958	627		100		
Engelhardt, H. T.	1959	134		94		
Sterns, A. W.	1921	167		50以上		
某生命保険会社		22,000		約20以上		
Ringel, E.		745	14.7			未遂
Kessel, N.	1962~63	165	36	74		服毒治療棟入院
		350	52	80		"
Krupinski, J.	1965	204	27.9	90.2		精神科
		154	20.2	75.4		"
Achte, H. S.	1966	100	14	97		毒物治療棟入院
Blanc, M.	1960~64	500	25	100		総合病院精神科入院
Prokupek	1963~66	15,641	14	91		
			12	86		精神科検診の未遂
加 藤	1961	328	12.5			内科入院の未遂
大 原	1956~57	62	37.1	93.5		救急病院入院の未遂

大熊輝雄(編)：躁うつ病の臨床と理論. p388, 医学書院(1990)

自殺者の診断名別分布

報告者	対象人数	分裂病	うつ病	メラニコリ	てんかん	精神病	神経症 心因反応	アル中 (嗜癖)	進行麻痺	ヒステリー	老人性精神病	嗜癖	その他	精神病質	正常
Siefert, H.	73	26.0		41.0				9.5	6.7				11.4	5.4	
Gaupp, R.	124				9.6	35.5		22.6		8.1			0.8	23.4	
Hübner, A. H.	92	10.9		20.7				3.3							
Trönner	88					25								59	16
Lowenberg, R. D.	90					51		8						41	
Oltman, J. E. ら	男 2,219 女 1,981	18.4 23.5	7.7 14.0				3.7 7.0	38.4 8.1			27.5 35.7		8.7 9.3	3.6 2.4	
Oppeer, W.	男 163 女 185	9.8 17.8	7.4 27.6		8.6 2.7		6.1 3.2	23.9 2.2					6.2 3.8	38.0 42.7	
Böcker, F.	876(未遂)	4.0	5.4			9.3	34.4	7.5			5.2		7.9	6.3	
Engelhardt, H. T. (1959)	134		45					23					32		
Stelzner, H. F.	201(妹達)	20.9	32.8		5.5			3.0	3.0				3.5	15.9	15.4
Litman, R. E.		10	40				10						40		
Rorsman, B.	46(男 30) (女 16)	3 6	52 69				7 25	28					10		
Pekorny, A. D.	615	11.9	44.9				11.3	2.6					16.6	12.7	
Ringel, E.	95	48.4	31.6		5.3				1.1		13.7				
Kessel, N.	男 615 女 350					63 25	5 12						27 20	32 16	
Jameison, G. R.	100	15	46	19	1		4						6	9	
Perr, I. N.	102	12	18				12	27					19	9	
石井	107	66.4	0.9		5.6			8.4	5.6		4.7		6.5	3.7	
稲地	46	65.2	19.6		4.3		2.2		4.3				4.4		
大原ら	117(未遂)	7.7					17.8						4.5		
山田	403		7.5				5.0				2.7	16.1	7.7		0.3
加藤	328	63.4	24.4		2.4				2.4			4.9	2.4		
高橋ら	28	42.8	10.7				17.9	3.6	10.7		14.3				
西川ら	30	23.3	43.3				33.3								
恒成ら	201(熊本県)	18.9	4.0				56.7	6.4					13.9		
楳取	548(豊後)	12.6	12.8		1.1		25.8	6.2			2.5	2.2	36.8		

大熊輝雄(編)：躁うつ病の臨床と理論, p390, 医学書院(1990)

